

# シラバス

科目名	ビジネス・マネジメント	単位数	3単位	学年・学科	3学年 流通ビジネス科	必修	
教科書名	教科書番号（出版社） 教科書名 商業706（実教出版）ビジネスマネジメント			副教材名			
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を育成することを目指す。						
学習内容と進め方	パワーポイント 授業内容提示、資料提示・配布、レポート作成、DVD視聴し課題レポート						
学習の留意点	(1) ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2) ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
月	単元	授業	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）
				1	2	3	
4	1章 ビジネスの創造		オリエンテーション				・ビジネスにおけるマネジメントの概要を理解している。 ・マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて考えている。  ・マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて考えている。 ・レポート作成  ・ノート評価 定期考査（前期期末） ・組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 ・レポート作成  ・ノート評価 ・経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 ・経営資源のマネジメントに関する課題を発見し解決方法を考案する。 ・レポート作成  定期考査（後期中間） ・ノート評価 ・ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解している。 ・レポート作成  ・企業の秩序と責任に関する課題を発見し、解決方法を考案する。  ・レポート作成 定期考査（後期期末）
	1 ビジネスの創造と社会	6	1-1 社会に存在する課題～	○			
	2 事業創造の基本	6	2-1 起業家と起業家活動～				
5	3 事業機会の発見	6	3-1 事業機会とは～				
	4 戦略と競争有意	6	4-1 事業創造と競争優位～		○		
	5 事業創造の計画と実行	6	5-1 事業創造のプロセス～			○	
6	2章 ビジネスの組織化					○	
	1 組織のマネジメント	4	2-1 組織マネジメント～	○	○		
7	2 分業と調整	6	2-2 分業、調整～	○			
	3 組織の設計	6	3-1 組織図の読み方～				
	4 組織内部マネジメント	6	4-1 リーダーシップ～		○		
8	5 取引関係マネジメント		5-1 内製か外注か～			○	
9	3章 経営資源マネジメント					○	
	1 財務的資源マネジメント	6	3-1 資金調達の方法～				
	2 人的資源マネジメント	6	3-2 採用～			○	
	3 物質的マネジメント	6	3-3 生産管理～	○			
10	4 情報的マネジメント	3	3-4 情報と知識～			○	
11	4章 ビジネスの変革					○	
	1 ビジネスの拡大	9	4-1 市場の浸透～				
	2 多角化の動機	9	4-2 既存事業の停滞～	○	○		
12	3 多角化企業のマネジメント	6	4-3 選択と集中～			○	
	4 事業の転換		4-4 既存事業の撤退～	○			
1	5章 ビジネスと社会	6	5-1 社会における企業			○	
	1 社会における企業	6	5-2 株主から支援～				
	2 企業への支援	2	5-3 株主の責任		○		
	3 企業の責任		5-4 株主による牽制			○	
	4 企業への牽引			○	○		
評価方法	(1) 評価の観点については下記の表のとおりとする。 (2) 具体的には定期考査、実習、提出物、演習などの取り組みから評価する。						
評価の観点	観点	趣旨					
	1. 知識・技能	ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付けている。					
	2. 思考・判断・表現	ビジネスにおけるマネジメントをはじめとした様々な知識などを活用し、ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経営資源のマネジメント、新たなビジネスの創造と展開などに責任をもって取り組もうとしている。					
評価基準	1. 知識・技能	A ビジネスにおける、マネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、場面に役立つ知識を身に付けている。 B ビジネスにおける、マネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解している。 C ビジネスにおける、マネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解していない。					
	2. 思考・判断・表現	A ビジネスにおける、マネジメントに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて工夫し、解決策を考えることができる。 B ビジネスにおける、マネジメントに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて工夫することができる。 C ビジネスにおける、マネジメントに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて工夫することができない。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	A ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶ態度及び主体的に取り組むことができる。 B ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶことができる。 C ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶ必要がある。					